



認定看護師だより

認定看護師会

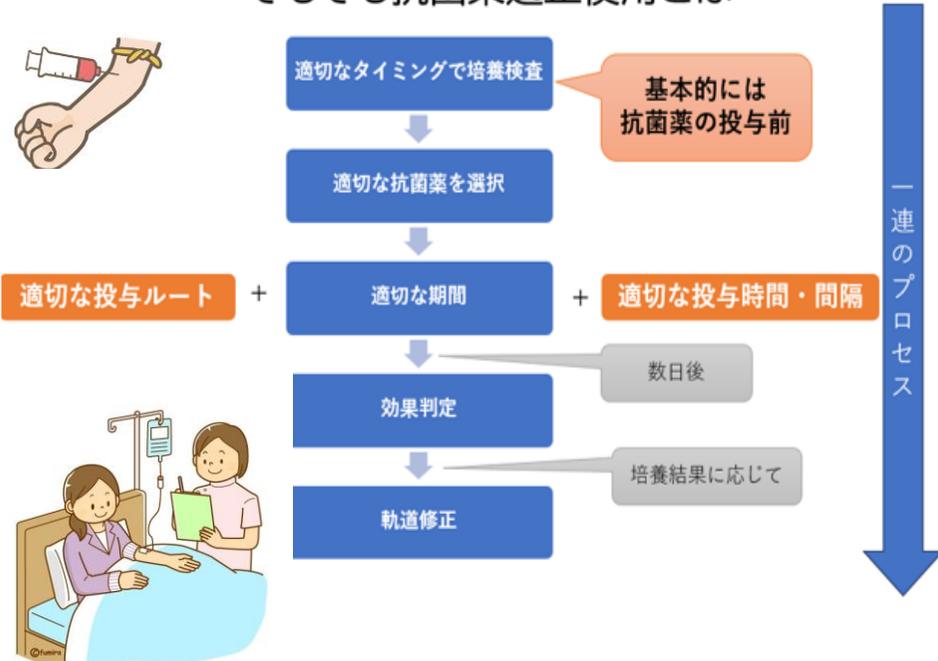


「抗菌薬適正使用が、患者を守り、医療を守る。」 手指衛生などの標準予防策と同様に AMR(薬剤耐性)対策を!

感染管理認定看護師 前竹 明美

AMRとはAntimicrobial Resistance(薬剤耐性)の略語であり、簡単に言うと抗菌薬の使い過ぎや間違った使い方をすることで、細菌が薬に対して耐性を持ち、効かなくなってしまう状態のことです。
対策がとられないままであれば、2050年に全世界で毎年1000万人以上の方がAMRに関連した原因で亡くなると予測されています。
当院でも抗菌薬適正使用チーム(AST)が毎週カンファレンスを行いサポートをしています。臨床に携わる看護師も理解して感染症治療にとり組みましょう。

そもそも抗菌薬適正使用とは



季節の変わり目 「ゆらぎ肌」対策していますか?

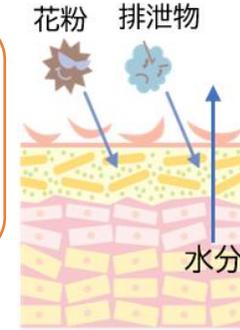
皮膚・排泄ケア認定看護師 城戸 香織

3月に入り、朝晩はまだまだ寒いですが、昼間は暖かい日もでてきました。花粉症でつらい時期を過ごしている方も多いのでは?

空気の乾燥に加え、気温の上昇で気づかないうちに発汗が増える時期でもあります。冬の乾燥を乗り越え、花粉や気温の変化などで肌はゆらぎがちです。高齢患者さんの肌もゆらぎ、元々脆弱であることも加わり刺激を受けやすい状態です。

自分の肌も守るのと同じように患者さんの肌もケアと一緒に守りましょう。

・花粉が皮膚につくことでアレルギー性の炎症を起こすことがあります
⇒花粉皮膚炎



暖房などにより隠れ脱水になっていることがあります
おむつの中は湿潤環境になっています
⇒おむつ皮膚炎のリスク
⇒褥瘡発生のリスク

予防は肌のバリア機能を保つこと

春こそ保湿ケア

ご自身の普段の肌ケアとして、水分をこまめにとったり、洗顔もこすらず、化粧水・乳液に加えて美容液やパック・・・
普段から肌トラブルが起きないようケアをしていませんか?

患者さんの肌ケアも同じです

肌の乾燥に注意し水分摂取を促しましょう
洗浄：泡で優しく洗い、十分な水で流しましょう
保湿：清拭タオルやおしり拭きでゴシゴシしていませんか?
保護：プロペト®や保湿剤、撥水剤を積極的に使用しましょう
おむつ装着患者さんへは・・・
おむつの吸収量の目安を超えていませんか?
交換のタイミングの見直しを行いましょう